

【高槻市ICT戦略 令和3年度個別施策実績報告一覧】

No	ICT戦略の基本方針	取組事項	概要	成果指標	目標値	個別施策の評価及び今後の取組等		部	所属	関連計画		
						実施状況および実績等	今後の取組、特記事項等			総合計画(6次)	改革方針	その他計画
1	(1) ICT活用による行政サービスの向上 (ア) 防災分野におけるICTの活用	緊急・災害情報伝達サービスの導入	災害時における情報の入手が困難な身体障がい者や75歳以上の一人暮らしで携帯電話・スマートフォンなどを保有していない方等に対し、ASPを利用し、電話・FAX等で緊急災害情報等を個別に情報伝達する。	運用開始	令和3年7月から	令和3年7月よりサービス提供を開始し、対象となる身体障がい者や75歳以上の一人暮らし高齢者などの利用登録を受けた。避難情報発令時には、利用登録者に対し、電話・FAX等により緊急災害情報を提供することで、多様な情報伝達手段の一つとしてサービスを提供した。	引き続き、利用ニーズが見込まれる身体障がい者や高齢者に対し案内を行い、サービス利用者の拡大を図るとともに、災害による避難情報発令時において、当サービスを使用し、緊急災害情報を継続して提供していく。	-	危機管理室	安全で安心して暮らせるまち		地域防災計画
2	(1) ICT活用による行政サービスの向上 (ウ) デジタルファーストの推進	電子申請の拡大	行政手続きのオンライン化推進に向けて、電子申請画面作成研修等の実施、市民向け問合せダイヤルを設けることで電子申請システムを積極的に活用できる環境づくりを整備する。	研修等の実施 問合せダイヤルの設置	令和3年度中	令和3年4月より市民向けおよび職員向け問合せダイヤルを設置し、電子申請システムを積極的に活用できる環境を整備した。また、職員向けの研修については、全2回の開催で81名に実施した。	自治体DX推進計画等における国民の利便性向上に資する27手続及び転出届・転入予約について、令和4年度末までにマイナンバーからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にする。	総合戦略部	情報戦略室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	自治体DX推進計画
3	(1) ICT活用による行政サービスの向上 (エ) 子育て分野におけるICTの活用	児童家庭相談業務等におけるタブレットPCの導入	児童家庭相談業務等において、タブレットPCを活用し、オンライン面談による相談支援体制の強化を図る。また、児童虐待対応時においては、必要な対応の判断の迅速化を図るために活用することで、児童虐待の防止を推進する。	運用開始	令和3年7月までに	令和3年9月から汎用予約システムを利用して、オンライン面談の受付を行っており、令和4年3月末時点で11件の面談の実績がある。また、虐待対応時においては、必要な対応の判断の迅速化を図ることができた。	ホームページ等での周知により、オンライン面談の利用促進を図るとともに、虐待対応時においても引き続き活用を図る。	子ども未来部	子育て総合支援センター	子育て・教育の環境が整ったまち		
4	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	採用試験申し込み等の電子化	採用試験における申込、受験票の発行等の諸手続きを電子化し、事務の効率化を図るとともに、試験科目の見直し等に併見込まれる申込者数の増加に対して対応する。	運用開始	令和3年4月から	令和3年度に採用管理システムを導入したことにより、申込、受験票の発行等の諸手続きが電子化され、事務の効率化が図られている。また、電子化等による申込者の負担軽減や申込者数の増加にも対応することができている。	引き続き、採用管理システムを円滑に運用し、安定的に採用試験を実施していく。	総務部	人事企画室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
5	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	人事・給与関係の申請等の電子化	人事・給与関係の申請等について、現行の紙での手続きから、庶務事務システムによる電子申請に変更することにより、事務の効率化とペーパーレスの推進を図る。	運用開始	令和4年8月から	令和4年9月からの運用開始を目指し、電子申請への変更に係る詳細な仕様決定や事務フローの検討等を行った。	引き続き、令和4年9月からの運用開始を目指し、事務の効率化を目指す。	総務部	人事企画室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
6	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	議会運営のICT化の推進	議員用タブレット端末及びペーパーレス文書共有システムを導入することにより、議会の運営・審議の充実・情報の共有を図るほか、災害などの緊急時における迅速な対応等に活用する。	運用開始	令和3年12月定例会から	令和3年3月に全議員へのタブレット端末の貸与を開始し、On11のペーパーレス文書共有システムの活用により、情報の提供・共有化を図ったほか、より充実した議会の運営・審議を実施した。なお、ペーパーレス文書共有システムについては、令和3年5月の全議員対象の利用者講習会を経て、同年6月から運用を開始した。(予定より早く運用開始)	今後も、議員用タブレット端末及びペーパーレス文書共有システムを活用し、議会の運営・審議の充実・情報の共有を図るほか、災害などの緊急時における迅速な対応等に活用する。	議会事務局	-	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
7	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	本会議のライブ配信	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、傍聴者の人数を制限せざるを得ない状況が続いていることから、本会議のライブ映像をインターネット上に配信することで、リアルタイムで本会議の視聴をできるような環境整備をする。また、積極的な情報公開、情報提供を行うことにより、より開かれた議会の実現を目指す。	運用開始	令和3年9月定例会から	インターネット上で本会議のライブ映像配信について、令和3年6月定例会で試行実施の上、予定どおり同年9月定例会から運用を開始し、リアルタイムでの音声・映像の提供により、より開かれた議会の実現に寄与した。	今後も、本会議のライブ・録画映像をインターネット上に配信し、積極的な情報公開、情報提供を行うことにより、より開かれた議会の実現を目指す。	議会事務局	-	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
8	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	障がい福祉課窓口システムの改修	障がい福祉課窓口システムの改修により、窓口の混雑状況を緩和させ、市民サービス向上と事務の効率化を図る。	運用開始	令和3年12月から	令和3年12月に、手続きや相談をした市民向けの2帳票(QRコード付帳票)を新たに導入し、受付終了時や申請案内時における説明手順の標準化及びQRコードを用いた検索性の向上を実現した。これにより、窓口対応時間が短縮(効率化)され、非接触化・感染予防に繋がった。	QRコード付帳票の効果検証を進め、運用方法及び記載事項の更なるブラッシュアップを行う。	健康福祉部	障がい福祉課	健やかに暮らし、ともに支え合うまち		
9	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	マイナンバーカードの管理・予約システム導入	カードの管理・予約システムの導入により、マイナンバーカードの管理や、カード申請情報及び申請・交付の予約情報を一体的に管理し、事務の効率化を図る。	運用開始	令和3年10月から	予定どおり令和3年10月から新システムを導入し、マイナンバーカードの管理やカードの申請・交付情報について、一元的に管理を行っている。(10〜3月、申請：15,167件、交付：14,743件)	今後も引き続き本システムの利用を継続し、行政手続きのオンライン化を推進する。	市民生活環境部	市民課			マイナンバーカード交付円滑化計画(国)自治体DX推進計画
10	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	市ホームページリニューアル(CMS更新)	平成23年度に導入したCMSを近年の機能の強化されたCMSに更新することで、ホームページのデザインやアクセシビリティによる市民サービスの向上やページ作成・管理に係る職員の負担の軽減を図る。	運用開始	令和4年3月から	令和4年3月22日に新ホームページの運用を開始した。	令和3年度で予定していたCMS導入は完了した。	総合戦略部	広報室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
11	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	文書管理システムにおけるPDFビューア機能の導入	文書管理システムにおいて、権限の起票添付データをワンクリックでまとめてPDF形式で表示させることができるPDFビューア機能を導入することで、電子決裁時の添付データの確認作業を効率化させる。	運用開始	令和4年度中	令和4年度の稼働に向けて、要件定義の確認等を行った。	稼働前はテスト等を適切に行い、稼働後はPDFビューア機能の周知を行い、電子決裁時の添付データの確認作業の効率化を図る。	総務部	法務ガバナンス室	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	
12	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ウ) 共通基盤の導入/ホストコンピュータシステムの再構築	共通基盤構築及びホストコンピュータシステム再構築の検討	ホストコンピュータシステムの再構築の検討を進めるとともに、システム間連携に掛かる経費の抑制を図るため、共通基盤を構築する。	データ連携基盤(共通基盤)の構築	令和3年度中	現在、ホストコンピュータで利用している文字と、サーバで利用している文字(日立明朝、MS明朝)について、相互に変換可能なデータ連携基盤(共通基盤)を構築した。また、今後追加される文字コードにも対応出来るものとした。	令和4年度より、「国民健康保険標準システム」向け連携データの文字コード変換を行い、本番稼働を開始する。今後もシステム標準化に伴い、数多くのシステムが利用する見込みである。	総合戦略部	情報戦略室 関係各課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち	生産性の向上	自治体DX推進計画
13	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ウ) 共通基盤の導入/ホストコンピュータシステムの再構築	国民健康保険システムの再構築	ホストコンピュータで稼働している国民健康保険システムの再構築を行う。再構築にあたり、国と国民健康保険中央会において開発した市町村事務処理標準システムを導入することで、国保事務処理の標準化・効率化・コスト削減を図る。	運用開始	令和5年1月から	市町村事務処理標準システムの仕様業務を合わせたように取組み、国民健康保険の事務処理の標準化・効率化をふまえたBPRの推進・コスト削減を図りながら、システムの仕様を確定することができた。また、国民健康保険システムで利用するサーバ群をクラウドサービス上に構築することによりコストの削減を実現した。	令和5年1月の稼働を目指し、データ移行・運用テストなどの検証を行うことで、システムの品質を確保する。また、本番稼働後の業務が円滑に行われるよう業務マニュアルを整備する。	健康福祉部	国民健康保険課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
14	(1) ICT活用による行政サービスの向上 (イ) スマートシティ実現のためのICTの活用	キャッシュレス決済のチャネル追加	納税者及び被保険者の利便性の向上を図るため、市税及び国民健康保険料のキャッシュレス決済(クレジットカード、インターネットバンキング、Pay Pay)に、LINE Pay、d払い、J-Coin Pay、au PAYのチャネル追加を行う。	運用開始	令和4年4月から	令和4年4月から市税及び国民健康保険料のキャッシュレス決済に、新たにLINE Pay、d払い、J-Coin Pay、au PAYのチャネルを追加し運用を開始した。	システムの運用を円滑に実施し、キャッシュレス決済のより一層の推進を図る。	総務部 健康福祉部	収納課 国民健康保険課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		
15	(4) ICT活用による効率的な行政運営 (ア) 積極的なICTの活用	介護認定審査会におけるWeb会議の導入	介護認定審査会を効果的・効率的に運用するため、Web会議開催に必要な機材や通信環境等を整備し、委員が自宅等からオンラインにより審査会へ参加できる体制を整える。	運用開始	令和3年8月から	介護認定審査会のWeb会議開催に必要な機材や通信環境等の整備を行い、予定通り令和3年8月から運用を開始した。	今後もWeb会議の環境を活用し、介護認定審査会を効果的・効率的に開催する。	健康福祉部	長寿介護課	効果的・効率的な行政運営が行われているまち		